

山陰防災フォーラム

2017年春の講演会

島根大学重点研究部門プロジェクト「山陰地域をフィールドとする
沈み込み帯での自然災害の予測・軽減技術の開発」キックオフミーティング

時間：平成29年6月17日（土）13:30 - 17:30

場所：島根大学総合理工学部3号館210室 多目的ホール

13:30-15:15

島根大学重点研究部門プロジェクト「山陰地域をフィールドとする沈み込み帯での自然災害の予測・軽減技術の開発」紹介

汪 発武(島根大・総合理工・教授)

花崗岩の風化度に関する研究 ～特に化学的な解析～

亀井淳志(島根大・総合理工・教授)

山陰地方における活断層予備群の洗い出し

向吉秀樹(島根大・総合理工・助教)

島根県山間部と平野部の地震動記録データの収集・分析と建物の耐震・制振補強効果の解析的検討（背景と研究計画）

澤田樹一郎(島根大・総合理工・教授)

マルチ指標による洪水ハザードマップの開発

佐藤裕和(島根大・生物資源・助教)

洪水対策・気象情報に関する法学の課題

磯村篤範(島根大・法文・教授)

休憩（15:15-15:30）

15:30-17:00

分布式光ファイバーセンシングによる地すべり挙動モニタリング

小暮哲也(島根大・総合理工・助教)

降雨による斜面崩壊の発生予測

汪 発武(島根大・総合理工・教授)

隠岐の地すべりとそれから見えるもの

村上 久(株式会社コスモ建設コンサルタント 常務取締役・隠岐支店長)

最近見た落石源のあれこれ

長嶺 元二(株式会社大隆設計・技術部長)

災害現場で活用できるツールの紹介

藤井俊逸(株式会社藤井基礎設計事務所・代表取締役社長)

17:00-17:30

総合討論（主宰：田坂 郁夫 山陰防災フォーラム議長）

※入場無料

※事前申込み不要